

日中戦争期「対日協力政権」 全10巻

[監修・解説] 関 智英 A5判上製/カバー ●揃定価：本体190,000円+税 ISBN978-4-8433-5757-6 C3321

●第1回配本・全5巻 揃定価：本体96,000円+税 ISBN978-4-8433-5758-3 C3321 2020年7月刊行予定

- ◆第1巻◆ 北支那 臨時増刊 冀東自治一週年紀念号(高木翔之助編)/冀東政権の正体(高木翔之助)/冀東から中華新政権へ(同) 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-5760-6
- ◆第2巻◆ 冀東綜覧 北支経済資料(増補版・神田隆介) 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-5761-3
- ◆第3巻◆ 蒙疆読本(小林知治)/察南自治政府史(察南政庁資料科編) 定価：本体15,000円+税 ISBN978-4-8433-5762-0
- ◆第4巻◆ 維新教育概要(維新政府教育部顧問室編) 定価：本体24,000円+税 ISBN978-4-8433-5763-7
- ◆第5巻◆ 国民政府要覽 昭和十七年・中華民國三十一年版(新武漢社編) 定価：本体17,000円+税 ISBN978-4-8433-5764-4

●第2回配本・全5巻 揃定価：本体94,000円+税 ISBN978-4-8433-5759-0 C3321 2021年1月刊行予定

- ◆第6巻◆ 華北合作社運動史(福田政雄)/浙江省経済便覧(浙江省連絡部編) 定価：本体27,000円+税 ISBN978-4-8433-5765-1
- ◆第7巻◆ 孔子論(池宗墨)/王道経論集(池宗墨著・川崎三郎編) 定価：本体15,000円+税 ISBN978-4-8433-5766-8
- ◆第8巻◆ 亜細亜の明日を語る(王子恵)/盟邦の友へ(林柏生著・藤田秀雄訳)/新生中国の政治指標(伍澄宇著・宮坂政治訳) 定価：本体23,000円+税 ISBN978-4-8433-5767-5
- ◆第9巻◆ 中日事変各要点詳論(温宗堯)/誅蔣救国論 全世界に告ぐ(同)/新中国の建設(同・徐本謙訳) 定価：本体15,000円+税 ISBN978-4-8433-5768-2
- ◆第10巻◆ 中国新聞の理念と批判(中華民国政府宣伝部中央報業經理処編)/大東亜戦争と新聞工作(同)/新聞の組織と其の實踐(同)/解説 定価：本体14,000円+税 ISBN978-4-8433-5769-9

近代中国指導者評論集成 全10巻

[編・解説] 松本和久 ●揃定価：本体145,000円+税 ISBN978-4-8433-5014-0 C3323

植民地帝国人物叢書 全64巻+別巻

[監修・解説] 谷ヶ城秀吉/永島広紀/加藤聖文 ●揃定価：本体1,069,000円+税 ISBN978-4-8433-3840-7 C3321

「満洲国」地方誌集成 全17巻

[編・解説] ゆまに書房出版部 ●揃定価：本体313,000円+税 ISBN978-4-8433-5368-4 C3325

戦後日中交流年誌 1945-1972 全17巻

[解説] 大澤武司 ●揃定価：本体255,000円+税 ISBN978-4-8433-4896-3 C3321

関連企画のご案内



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL .03 (5296) 0491
FAX.03 (5296) 0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方●
中国・日本近現代史研究者、植民地史研究者、各大学の図書館、公共図書館など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

ご注文書	日中戦争期「対日協力政権」全10巻		取扱店
	揃定価：本体190,000円+税 ISBN978-4-8433-5757-6 C3321		
お名前			
住所			TEL ()

日中戦争期

「対日協力政権」



◆監修・解説◆
関 智英
SEKI Tomohide
津田塾大学学芸学部准教授

「漢奸」と呼ばれ、戦後忘れ去られた人々の理想とはいったい何であったのか？
「傀儡」とされてきた人々の主体性に寄り添い、歴史観の転換を促す、占領下中国に関する資料を集成。

全10巻



ゆまに書房

冀東防共自治政府 正門 (『冀東綜覧 北支経済資料』より)

刊行にあたって

日中戦争や上海史で先駆的な成果を残した古厩忠夫は、日中戦争を検討する際、延安・重慶・南京の三点から俯瞰すべきと指摘した。言うまでもなく、延安は毛沢東率いる中国共産党、重慶は蒋介石の重慶国民政府、そして南京は汪精衛の国民政府（汪政権）に代表される日本占領地を、それぞれ象徴的に示している。三つの勢力の関係は時期によって変化し、必ずしも均衡ではなかったものの、日中戦争を立体的に見る上で有効な提言である。

しかしこうした視角が広く受け入れられるようになったのは最近のことである。とりわけ占領地に在った協力者に関する研究は長らく進まなかった。戦後大陸を支配した中国共産党率いる中華人民共和国も、台湾に移った中国国民党率いる中華民国も、ともに日中戦争の勝利をもって、自らの統治の正統性を担保してきた以上、日本と協力した中国人は、「漢奸」——漢民族の裏切り者——との否定的評価を免れることはできなかったのである。

この影響は日本の学術界にも及んだ。戦後、研究者の関心は中国共産党の動向に向けられ、中国人協力者を肯定的に見ていたのは交流のあった旧軍人・外交官といった関係者か、保守系論壇に分類される人々の一部に限られていた。たとえ学術研究で占領地や協力者が取り上げられたとしても、そこで着目されたのは日本の支配を受け入れた被支配者としての側面であり、協力者が日本軍の占領という制限下にありながらも、彼らなりの意図や将来の構想をもって協力した、といった彼らの主体性

(津田塾大学学芸学部准教授)

関 智英

に即した理解は欠落したままだったのである。

本集成が扱うのは、こうした対日協力者や占領地を理解する上で欠くことのできない日本語刊行物群である。日中戦争勃発前夜に成立した冀東政府から蒙疆政権・維新政府・汪政権に関するものまで広く網羅し、出版地は日本国内のみならず、張家口・天津・上海・杭州・南京・武漢と占領各地に亘っている。発行部数は数千に及んだものもあるが、外地で刊行されたものはもちろん、日本国内で発行されたものも、時局性が強いが故に戦後はほぼ忘れられ、現存数は限られている。加えて紙資源が逼迫していた時期に刊行されたものも多いため、本刊行は資料の保存・継承という点でも意義ある企画と言える。

全体は大きく二つの系統に分かれる。一つは『冀東綜覧』『蒙疆読本』『察南自治政府史』『維新教育概要』『浙江省経済便覧』といった、主に日本人が占領地政権やその施策について紹介・概説した刊行物である。いずれも年鑑類では把握できない、各政権に即した情報の宝庫である。もう一つは、『孔子論』（池宗墨）・『亜細亜の明日を語る』（王子恵）・『新中国の建設』（温宗堯）・『新生中国の政治指標』（伍澄宇）など、政権当事者の考えが直接現れた刊行物である。彼等が如何なる意図を持っていたのかを知る上で必見の資料と言える。

本集成の刊行によって、日中戦争はもちろん、広く中国社会に対する理解が深まることを願っている。



本書の特色

- 1930～40年代、中国各地で設立された「対日協力政権」に関する公式・非公式資料を収集・復刻。
- 抗戦陣営と袂を分かち、また、日本の占領下にあっても主体性を保とうとした、各政権の実像を探る手がかりとなる。
- 第1～6巻では、冀東防共自治政府、察南自治政府、蒙古聯合自治政府、中華民国維新政府、中華民国国民政府（汪兆銘政権）等の概要を示す資料を収録し、信頼度の高い情報を提供する。
- 第7～9巻では、池宗墨、伍澄宇、温宗堯ら各政権の理念を支えた人物の著作を収録し、彼らの思想的な位置づけを可能にする。
- 第10巻では、汪政権における政治宣伝に関する資料を収録するほか、監修者による解説を付し、シリーズ全体を俯瞰する。

本書の収録文献

一九四二年三月、南京での遷都一周年を祝うパレード（ゆまに書房刊『同盟グラフ』第252号（1940年4月）より）



- 第1巻 『北支那 臨時増刊 冀東自治一週年紀念号』 高木翔之助編・北支那社発行／1936年
『冀東政権の正体』 高木翔之助著・北支那社発行／1937年
『冀東から中華新政権へ』 高木翔之助著・北支那社発行／1938年
- 第2巻 『冀東綜覧 北支経済資料』 増補版 神田隆介著・東洋事情研究会、巖松堂書店発行／1937年
- 第3巻 『蒙疆読本』 小林知治著・国防攻究会発行／1939年
『察南自治政府史』 察南政庁資料科編・察南政庁発行／1941年
- 第4巻 『維新教育概要』 維新政府教育部顧問室編・発行／1940年
- 第5巻 『国民政府要覧 昭和十七年・中華民国三十一年版』 新武漢社編・発行／1942年
- 第6巻 『華北合作社運動史』 福田政雄著・華北合作事業総会発行／1944年
『浙江省経済便覧』 浙江省連絡部編・浙江省連絡部第二科発行／1944年
- 第7巻 『孔子論』 池宗墨著・新東洋社、東洋事情研究会発行／1936年
『王道経論集』 池宗墨著、川崎三郎編・大東亜協会発行／1941年
- 第8巻 『亜細亜の明日を語る』 王子恵著・亜細亜書房発行／1938年
『盟邦の友へ』 林柏生著・藤田秀雄訳・郁文社発行／1942年
『新生中国の政治指標』 伍澄宇著・宮坂政治訳・泉書房発行／1944年
- 第9巻 『中日事变各要点詳論』 温宗堯著・出版者不明／1939年
『誅蔣救国論 全世界に告ぐ』 温宗堯著・昭和書房発行／1939年
『新中国の建設』 温宗堯著・徐本謙訳・東亜公論社発行／1940年
- 第10巻 『中国新聞の理念と批判』 中華民国政府宣伝部中央報業經理処編・発行／1941年
『大東亜戦争と新聞工作』 中華民国政府宣伝部中央報業經理処編・発行／1942年
『新聞の組織と其の実践』 中華民国政府宣伝部中央報業經理処編・発行／1942年
解 説



1940年3月、中央政治会議にて。右より、王揖唐、梁鴻志、汪兆銘、王克敏、陳公博（ゆまに書房刊『同盟グラフ』第252号（1940年4月）より）